



平成30年5月11日

各 位

株式会社 エー・アンド・デイ
 代表取締役執行役員社長 森島 泰信
 (コード番号: 7745 東証第一部)
 問合せ先 取締役常務執行役員管理本部長 伊藤 貞雄
 電話番号 048-593-1111

平成30年3月期 連結業績予想値と実績値の差異および 個別業績と前期実績の差異に関するお知らせ

平成29年11月8日に公表いたしました平成30年3月期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、平成30年3月期の個別業績について、前期実績との差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期の連結業績予想数値と実績値との差異(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 42,700	百万円 1,900	百万円 1,800	百万円 1,000	円 銭 48.81
実績値(B)	44,120	2,378	2,332	1,827	89.22
増減額(B-A)	1,420	478	532	827	
増減率(%)	3.3	25.2	29.6	82.8	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	40,199	1,133	1,105	477	22.41

2. 平成30年3月期の個別業績と前期実績との差異(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	百万円 29,099	百万円 170	百万円 525	百万円 313	円 銭 14.74
実績値(B)	30,724	559	938	832	40.64
増減額(B-A)	1,625	389	413	518	
増減率(%)	5.6	228.5	78.7	165.3	

3. 差異の理由

連結業績については、売上高は概ね予想通りに推移した中、前期において材料の高騰等により悪化していた原価率が中国子会社における外注化の推進等の生産性改善により予想以上に改善したこと、加えて繰延税金資産の計上額が想定以上となったため、特に親会社株主に帰属する当期純利益において予想を上回ることとなったものです。

個別業績については、上記中国子会社をはじめとする製造子会社からの仕入値の低減による原価率の改善により営業利益、経常利益とも前期実績を上回ったことに加え、前期にあった創業者功労等引当金繰入額の計上できなかったことから当期純利益が前期実績を大きく上回るようになったものです。

以 上